



大分県人権啓発イメージキャラクター
ター こころちゃん

どなたでもご利用できます。
お気軽にお立ち寄りください。(県庁舎別館1階)

書籍名・サブタイトル	出版社	著者	出版年	種別等	あらすじ
1 モヤモヤする正義—感情と理性の公共哲学	晶文社	ベンジャミン クリッツァー	2024	人権 総論	「表現の自由は大切だが、あまりに攻撃的な表現は許容すべきでない」「少数派や女性に対してより配慮すべきだが、多数派や男性のことが無視されるのもおかしい」……意見が対立するさまざまな問題について、多くの人はどちらの「正義」にも同意や共感を示し揺れている。こうした正義にまつわるモヤモヤに対し、どの意見が正しいのか、社会の規範はどうあるべきなのか、その「答え」を提示する政治哲学的論考。キャンセル・カルチャー、マイクロアグレッション、トーン・ポリシング、弱者男性論など重要な概念・議論を題材に、感情に流されない「公共的理性」による問題解決を試みる画期的なテキスト。「晶文社スクラップブック」の連載に大幅加筆・全面改稿した大ボリュームで!
2 イマジナリー・ネガティブ—認知科学で読み解く「こころ」の闇	集英社	久保(川合) 南海子	2024	人権 総論	著者は、心理学博士。認知科学の概念「プロジェクション」とは、自分の内的世界を外部の事物に重ね合わせるこころの働きである。プロジェクションには「推し」の存在に生きる意味を見出すようなポジティブな面がある一方で、靈感商法、オレオレ詐欺、陰謀論、ジェンダー規範など、他者によってこころを操られたり自分自身を無意識のうちに縛ったりすることでネガティブな問題を生じさせる面もある。実際には起きていないことや存在しないものを想像して現実投射できるがゆえに生まれる「イマジナリー・ネガティブ」を認知科学の視点で考察する一冊。
3 女たちの平安後期—紫式部から源平までの200年	中央公論新社	榎村 寛之	2024	女性	平安後期、天皇を超える絶対権力者として上皇が院政をしき、それを支える中級貴族や源氏・平家などの軍事貴族、乳母が権力を持つようになる。そのなかで巨大な権力を得た女院たちが登場、莫大な財産は源平合戦のきっかけを作り、武士の世へと移って行く。紫式部が『源氏物語』で予言し、中宮彰子が行き着いた女院権力とは?「女人入眼の日本国(政治の決定権は女にある)」とまで言われた平安後期の実像がいま明らかされる。
4 星を掬う	中央公論新社	町田 そのこ	2024	女性	著者は、『52ヘルツのクジラたち』で2021年本屋大賞を受賞。千鶴が夫から逃げるために向かった「さざめきハイツ」には、かつて自分を捨てた母・聖子がいた。他の同居人は、家事を完璧に担う彩子と、聖子を理想の「母」と呼び慕う恵真。「普通」の家族関係を築けなかった者たちの奇妙な共同生活は、うまくいきかけたものの、聖子の病で終わりを告げ—。傷つけながらも求め合う母娘の再生物語。
5 DТОPIA	河出書房新社	安堂 ホセ	2024	女性	第172回芥川賞受賞作 舞台は南太平洋の楽園、ボラ・ボラ島。白人女性“ミスユニバース”を巡って10人の男が競う。Mr. L. A.、Mr. ロンドン、そしてMr. 東京—やがてショーの視聴者たちは「自分だけのDТОPIA(デートピア)」を編集しはじめ、楽園の時間は膨張する。
6 藍を継ぐ海	新潮社	伊予原 新	2024	子ども	第172回直木賞受賞作。 数百年先に帰ってくるかもしれない。懐かしい、この浜辺に—。なんとかウミガメの卵を孵化させ、自力で育てようとする徳島の中学生の女の子。老いた父親のために隕石を拾った場所を偽る北海道の身重の女性。山口の島で、萩焼に絶妙な色味を出すという伝説の土を探す元カメラマンの男—。人間の生をはるかに超える時の流れを見据えた、科学だけが気づかせてくれる大切な未来。きらめく全五篇。
7 ターラの夢見た家族生活 - 親子をまるごと支えるフランスの在宅教育支援(マンガ)	サウザンブックス社	パボ/安發明子	2024	子ども	「子どもがまんなか」と「家族まるごと」支えて育てる社会のかたち。ソーシャルワーカー、教育・保育・社会的養護関係者、地域で子どもと家族を支える方々、、、 「日本の子どもたちのために何ができるのか」に取り組むすべての人へ。ヒントと勇気もらえる!フランス子育て支援漫画。
8 わたしはわたし。あなたじゃない。—10代の心を守る境界線「バウンダリー」の引き方	リトル・モア	鴻巣 麻里香	2024	子ども	中高生の困りごとに向き合うスクールソーシャルワーカーの鴻巣麻里香さんが、10代が抱えている人間関係の悩みやしんどさについて、「バウンダリー」を糸口に対処法を見つけ出し、助けになる知識と作戦を伝える本です。バウンダリーとは、「わたしはわたし、あなたはあなた」という、自分と相手の間に引く境界線のこと。たとえ家族でも、友達でも、教師でも、恋人でも、バウンダリーを踏みこえるのはNGです。お互いの心地よい距離感を見つけて、ちょうどよく線を引いたらラクになるはず。
9 家族だから愛したんじゃない、愛したのが家族だった+かきたし	小学館	岸田 奈美	2023	子ども	2024年NHKドラマの原作本。 真夏の甲子園でホットコーヒーの売り子をしたり、試着に1時間かかるブラジャーを買ったりと、なぜか日々おもしろいことが起きる作家・岸田奈美がつづる、情報過多な日々のこと。大丈夫な家族と、大丈夫じゃない日々を、疾走感あふれるリズムカルな文章で、軽やかにユーモラスにとびこえる。笑いと涙と救いがそこにある。“弟が万引きを疑われ、そして母は赤べこになった”“母に「死んでもいいよ」といった日”ほか傑作エッセイを多数収録。
10 宙わたる教室	文藝春秋	伊予原 新	2024	子ども	窪田正孝主演で、2024年NHKでドラマ化。 東京・新宿にある都立高校の定時制に集った、さまざまな事情を抱えた生徒たち。彼らは「科学部」を結成し、「火星のクレーター」を再現する実験を始めた。煌々と明かりが灯った夜の教室で、小さな奇跡が起きる—。
11 今日も明日も負け犬。	幻冬舎	小田 実里	2024	子ども	高校時代に原作・脚本を担当した自主製作映画「今日も明日も負け犬。」でeiga worldcup 2021最優秀作品賞を受賞の原作本。 いっただって、人生の負け組だった。起立性調節障害という病を抱え、学校に行けなくなった中学生の実話に基づく物語。

書籍名・サブタイトル	出版社	著者	出版年	種別等	あらすじ
12 ライオンのくにのネズミ(絵本)	中央公論新社	さかとく み雪	2024	子ども	書店員が選ぶ絵本新人賞2024大賞作品。父親の転勤でライオンのくにに引っ越したねずみの家族。ライオンが怖くて仕方がない子ねずみだったが、あることをきっかけにライオンと対決することに。使う言葉も習慣も体の大きさも違う彼らはわかりあうことができるのか？
13 はるさんと1000本のさくら(絵本)	中央公論新社	ただ のぶこ	2023	子ども	著書は大阪生まれ。小学校教諭を定年退職後、絵本制作に取り組む。76歳で「書店員が選ぶ絵本新人賞2023」にて大賞を受賞し、新人絵本作家としてデビュー。限界集落となった里山に賑わいを取り戻そうと奮闘するおばあさんの挑戦とその後、里山におとづれる奇跡。
14 親子でいっしょに！こころからだのドリル 5～8歳編	海鳥社	伊東 絵理加	2024	子ども	「性」についてわが子に正しい知識を持ってほしい。福岡市の主婦がそんな思いから作った性教育本。大切なのは、幼いうちに心の土台をつくること。5歳になったらはじめよう！子どもの人生を守る性教育。家族、コミュニケーション、いじめ・暴力、自分のからだ、スマホ・防犯対策。ユネスコ「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」に学ぶ包括的性教育。
15 音のない理髪店	講談社	一色 さゆり	2024	障がい者	大正時代に生まれ、幼少時にろう者になった五森正一は、日本で最初に創設された聾学校理髪科に希望を見出し、修学に励んだ。当時としては前例のない、障害者としての自立を目指して。やがて17歳で聾学校を卒業し、いくつもの困難を乗り越えて、徳島市近郊でついに自分の理髪店を開業するに至る。日中戦争がはじまった翌年のことだった。―そして現代。3年前に作家デビューした孫の五森つばめは、祖父・正一の半生を描く決意をする。ろうの祖父母と、コーダ(ろうの親を持つ子ども)の父と伯母、そしてコーダの娘である自分。3代にわたる想いをつなぐための取材がはじまった…。
16 いのちの芽 - 詩集	岩波書店	大江 満雄	2024	障がい者	1953年、大江満雄(1906-91)は、全国8つのハンセン病療養所の入所者73名の詩227篇からなる合同詩集を編んだ。詩人たちは、自らの境遇を「宿命」とするのではなく、生命の肯定、人間への愛惜、差別への抗議を、力強くうたった。戦後詩の記念碑、文庫として輝きを放つ。(解説=大江満雄・木村哲也)
17 Shrink～精神科医ヨワイ～ 14(マンガ)	集英社	月子/七海仁	2024	医療	令和6年8月、中村倫也主演でNHKでドラマ化。精神科クリニックを舞台にした医療マンガ。第14巻は、アスリートとメンタル編を収録。
18 捨てられた僕と母猫と奇跡―心に傷を負った二人が新たに見つけた居場所	プレジデント社	船ヶ山 哲	2024	医療	うつ病を発症した僕が、子猫と引き裂かれた母猫テコと出会い、救われた物語。
19 透析を止めた日	講談社	堀川 恵子	2024	医療	「私たちは必死に生きた。しかし、どう死ねばよいのか、それが分からなかった」なぜ、透析患者は「安らかな死」を迎えることができないのか？どうして、「緩和ケア」を受けることさえできないのか？10年以上におよぶ血液透析、腎移植、再透析の末、透析を止める決断をした夫。その壮絶な最期を看取った著者による、息をのむ医療ノンフィクション！
20 胚培養士ミズイロ(3)	小学館	おかざき 真理	2023	医療	『阿・咩』『サブリ』のおかざき真里が描く、不妊治療の現場で働くスペシャリストたちの医療ドラマ。「背負うもの」「揺れる医療」編を収録！！
21 胚培養士ミズイロ(4)	小学館	おかざき 真理	2024	医療	「杯培養士のなり方」や「理由」編について収録！
22 胚培養士ミズイロ(5)	小学館	おかざき 真理	2024	医療	「理由」「お迎え」編について収録！
23 胚培養士ミズイロ(6)	小学館	おかざき 真理	2024	医療	「お迎え」「ゴール」「軌条」編について収録！
24 アウシュヴィッツの小さな厩番	新潮社	オイスターヘンリー(著) 大沢 章子(訳)	2024	外国人	ドイツ・ケルン生まれのユダヤ人少年の幸せな日々は、突然終わりを告げた。ユダヤ人の権利が次々に制限され、尊厳がじわじわと奪われていく。ゲットへの「再定住」と父の死。強制収容所への移送と母の死。死があまりに身近な場所で、時に馬の餌を盗み、運と知恵を頼りに少年は生き抜いた。2011年には、ケルンから強制移送された2011人の最後の生き残りとして70年ぶりにドイツを訪れ、なお寛容を語った魂の記録。
25 生殖記	小学館	朝井 リョウ	2024	性の多様性	著者は、直木賞作家。『正欲』から3年ぶりとなる最新長篇作。とある家電メーカー総務部勤務の尚成は、同僚と二個体で新宿の量販店に来ています。体組成計を買うため―ではなく、寿命を効率よく消費するために。この本は、そんなヒトのオス個体に宿る〇〇目線の、おそらく誰も読んだことのない文字列の集積です。
26 人権としての住まい、過去と現在	東洋出版	高島 一夫	2024	その他の人権	世界初！日本及び欧米諸国の「借地借家人の実情」がこの一冊でわかる！戦前から不当な権利金・礼金、更新料、承諾料の廃止を求め45年、今も現役活動家の筆者が国民の4割を占める借主に贈る書。
27 日本映画の「働き方改革」―現場からの問題提起	平凡社	深田 晃司	2024	その他の人権	近年、セクハラ・パワハラ、長時間労働や低賃金など過酷な実態が明らかとなってきている映画業界―。問題の根底にある要因は一体何なのだろうか？そして、業界に携わる人々が健全に働くためには具体的にどうすればよいのだろうか？映画監督としての立場から提案する持続可能な映画業界をつくるための解決策。

	書籍名・サブタイトル	出版社	著者	出版年	種別等	あらすじ
28	孤独社会—現代日本の“つながり”と“孤立”の人類学	青土社	小澤デシル バ慈子(著者) 吉川純子(訳)	2024	その他の人権	人びとの心に巣くい、時に死に至らしめる孤独という「病」。孤独は個人の問題に留まるものではなく、社会全体で取り組むべき問題である。居場所のなさや生きづらさの根源はどこにあるのか。インターネット掲示板や東日本大震災の被災地、映画・アニメにいたるまでのフィールドに踏み込み、心理学・人類学の専門知から現場をみつめる。
29	言霊の幸う国で	筑摩書房	李 琴峰	2024	その他の人権	著者は「彼岸花が咲く島」で芥川賞受賞。 本厄の年に芥川賞を受賞したこと柳千慧を襲う災厄の数々—ストーリーカー、女性差別、外国人差別、同性愛差別、トランス差別…あらゆる差別に抗して生き延びるために言葉を紡ぎ厄を祓う闘争と再生の書。入魂の1000枚書き下ろし！！
30	姉と弟—捏造の間「袴田事件」の58年	岩波書店	藤原 聡	2024	その他の人権	「死刑囚」のくびきを外し、袴田巖が真の自由の身になる時がきた。証拠の捏造まで行った警察の動き、死刑判決を下し、支持した歴代裁判所の判断、弁護活動の瑕疵…。寡黙な元ボクサーを精神の破綻に追い込んだ責任はどこにあるのか。献身的に支え続けた姉ひで子と弟の人生を重ね合わせながら、世紀の冤罪事件の全貌に迫る。
31	論語と算盤—詳解全訳	筑摩書房	洪沢 栄一	2024	その他	国を富ませ、人々を幸福にすることを信念として、日本の実業界の育成につとめた洪沢栄一。その思想の完成形ともいべき『論語と算盤』は、先の見えない時代を生きる私たちに何を語りかけるか—。生き生きとして読みやすい現代語完全訳に、本書の背景をなす時代状況や中国古典についての詳細な解説と注を付した決定版！